

# 関西病虫害研究会第96回大会プログラム

日時: 2014年5月27日(火) 9:30~

会場: アスト津 4階 アストホール(虫害分科会、総会)

4階 研修室A(病害分科会)

受付: 4階 アストホール前

講演時間: 1講演15分 (1鈴10分、2鈴12分、質疑応答3分、3鈴15分)

講演方法: パワーポイント(各自操作)

○演者

	虫害分科会:アストホール	病害分科会:研修室A
9:30~	受 付	
	① 座長:西野 実 (10:00~11:00)	① 座長:渡辺秀樹 (10:00~10:45)
10:00	1 愛知県内のイチゴほ場で採取したナミハダニに対する主要殺虫剤の殺虫効果 ○石川博司・江口敏弥 (愛知県農業総合試験場)	1 ヒジキ蒸煮液のトマトうどんこ病防除効果 ○武山桂子・加藤晋朗・古賀文晴*・川北一人** (愛知県農業総合試験場*・太田油脂(株)**・名古屋大学大学院)
10:15	2 奈良県でのキクに寄生するナミハダニ黄緑型のミトコンドリア複合体II阻害剤に対する感受性低下 ○国本佳範・印田清秀 (奈良県農業総合センター)	2 メンブレンフィルターおよび選択培地の併用によるコムギ種子からのムギ類黒節病菌の高感度検出 ○鈴木啓史・黒田克利・山川智大・松本憲悟・橋爪不二夫・辻 朋子 (三重県農業研究所)
10:15	3 岐阜県の冬春トマト施設周囲におけるタバコナジラミのバイオタイプ ○妙楽 崇・杖田浩二・小枝俊仁*・杉原鷹彦* (岐阜県農業技術センター*・岐阜県病虫害防除所)	3 菌核病菌の子のう盤形成能を消失する湛水処理の条件 ○黒田克利・鈴木啓史・辻 朋子 (三重県農業研究所)
10:45	4 TYLCV検定のための黄色粘着板に捕捉されたタバコナジラミ成虫からの簡易凍結DNA抽出 ○豊田周子・北村登史雄・武田光能・大西 純 (独)農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所)	② 座長:永井裕史 (10:45~11:15) 4 UV-B夜間照射によるイチゴうどんこ病防除効果-照度・照射時間の検討- ○有元倫子・長谷部匡昭・山田 真*・青木慎一*・江波義成 (滋賀県農業技術振興センター*・パナソニック株式会社)
11:00	② 座長:太田 泉 (11:00~12:00) 5 和歌山県におけるネオニコチノイド系薬剤の殺虫効果が低いワタアブラムシの発生 ○岡本 崇・岩橋良典・森下正彦 (和歌山県農業試験場)	5 ホウレンソウ立枯病に対する二重被覆太陽熱土壌消毒の防除効果 ○衛藤夏葉・安井(大谷)洋子 (和歌山県農業試験場)
11:15	6 ネギハモグリバエ蛹の越冬密度と冬季ダゾメット剤処理による殺虫効果 ○神川 諭・井村岳男* (奈良県農業総合センター*・現奈良県農林部)	③ 座長:岡田清嗣 (11:15~12:00) 6 三重県におけるQoI剤耐性野菜類灰色かび病菌(Botrytis cinerea)の発生確認 ○辻 朋子・鈴木啓史・黒田克利 (三重県農業研究所)
11:30	7 露地ナス土着天敵保護体系におけるカスミカムシ類被害と防除対策 ○竹中 勲・国本佳範 (奈良県農業総合センター)	7 トマト灰色かび病のゴーストスポット症状に対する各種薬剤の防除効果 ○渡辺秀樹・足立昌俊 (岐阜県農業技術センター)

11:45	8 愛知県におけるイラクサギンウワバおよびハスモンヨトウの薬剤感受性の差異 ○平野忠美・子安英雄 (JA愛知経済連営農支援センター)	8 ペンチオピラドのキュウリうどんこ病菌に対する感受性検定法 ○堤 京子・小原敏明・内藤良平・萩原寛之・稲見俊一・明瀬智久 (三井化学アグロ研究所)
12:00~ 13:15	昼食	
13:15~ 13:45	総会:アストホール	
13:45	③ 座長:木村 学 (13:45~14:45) 9 ツヤアオカメムシの数種植物における発生と生理状態の季節的变化 ○本田知大・糸山享 (明治大院農)	④ 座長:鈴木啓史 (13:45~14:15) 9 ダイコン黒斑細菌病に対する有効薬剤の選定および根部黒変症状発生の変種間差異 ○安井(大谷)洋子・衛藤夏葉・瀧川雄一* (和歌山県農業試験場**静岡大学創造科学技術大学院)
	10 ブドウにおけるブドウヒメハダニの発生状況と薬剤殺虫効果 ○柴尾 学・細見彰洋・田中 寛 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)	10 非病原性Xanthomonas属菌細菌を用いたブロッコリー黒腐病の生物防除 ○永井裕史・三宅律幸・加藤晋朗・前川大輔*・井上康宏** (愛知県農業総合試験場*クミアイ化学工業(株)**(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター)
14:00	11 カキノヘタムシガに対する数種殺虫剤の防除効果比較 ○杖田浩二・妙楽 崇 (岐阜県農業技術センター)	13:45~16:30に情報交換を行っていただく場として、4階の「第1会議室」に会場を設けております。会場は飲食が可能で、お茶をご用意しております。ご利用ください。
14:15	12 京都府におけるチャトゲコナジラムの地域別発生推移 ○上山 博・徳丸 晋*・山下幸司** (京都府病害虫防除所*京都府茶業研究所**京都府山城北農業改良普及センター)	
14:30	④ 座長:石川博司 (14:45~15:30) 13 ヒメトビウンカに対する箱施薬剤の殺虫効果 ○岩橋良典・岡本崇・岡本晃久 (和歌山県農業試験場)	
14:45	14 三重県における水稻のイネカメムシの局所的発生と防除対策 ○大仲桂太・西野 実 (三重県農業研究所)	
15:00	15 京都府の水稻におけるミナミアオカメムシの発生消長 ○鴨志田徹也・竹内敬一朗*・新谷雅敏** (京都府病害虫防除所*京都府京都乙訓農業改良普及センター**JA京都中央)	
15:15		

	⑤ 座長:妙楽 崇 (15:30~16:15)	
15:30	16 赤色光を利用したアザミウマ類によるイチジク果実の被害軽減効果 ○木村 学・間佐古将則・森本涼子* (和歌山県果樹試験場かき・もも研究所・*和歌山県食品流通課)	
15:45	17 滋賀県におけるアザミウマ類に対する主要薬剤の殺虫効果 ○近藤博次・土井真也 (滋賀県農業技術振興センター)	
16:00	18 大阪府内の4地域から採集したミナミキイロアザミウマに対する各種薬剤の殺虫効果 ○浜崎健児・柴尾 学・田中 寛 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)	

### 講演発表者にお願ひ

○講演時間は発表12分、質疑応答3分の合計15分です。パワーポイントによる発表とします。使用するパソコンのOSとパワーポイントのバージョンは次のとおりです。

・アストホール(虫害分科会)・・・Windows 7, Powerpoint2013

・研修室A(病害分科会)・・・Windows 7, Powerpoint2013

各自で会場のバージョンに対応できるようにパワーポイントの作成をお願いします。

○発表用ファイルは事前送付をお願いします。

下記住所にCD-Rを送付して下さい(5月23日必着)。

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530

三重県農業研究所 農産物安全安心研究課 黒田克利 (電話0598-42-6360)

事前送付できなかった場合は、電話連絡をして下さい。

○ファイル名は発表者氏名とし、CD-R表面にも油性ペンで発表者氏名をご記入ください。

○CD-Rの返却は、当日の受付で返却いたします。

○パワーポイントの操作は各自操作をお願いします。